

調剤報酬に依存しない経営への足がかりに

試飲きっかけに新たなコミュニケーションを創造

医薬分業を背景に拡大し続けてきた保険調剤市場だが、今後は保険点数の圧縮が進むとされている。また、厳しさを増すのは収益性だけでなく、処方箋における他店との競争においても同様。大手・中小のスケールを問わず、本質的なビジネスモデルの転換が必要といえる。これまで見ていた景色が変わり始めるなかで、カフェの開業やOTC薬の販売など、調剤報酬に依存しない経営に取組むオリーブ薬局を取材した。

タキザワ漢方廠 KAMPO煎専堂SELECT販売実例

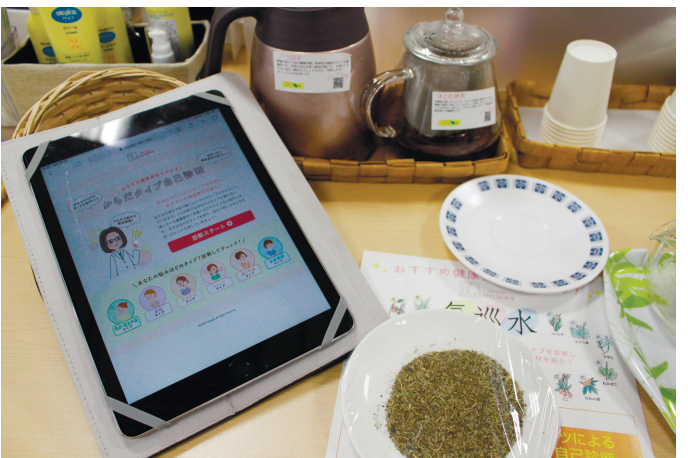


生薬を活用した展開へ意欲を燃やす鹿又薬局長

OTC医薬品の販売においてアンチドーピングに関する啓発、相談応需を行っている。薬局長の鹿又美由紀氏は、認定実務実習指導薬剤師と漢方薬・生薬認定薬剤師の資格を持つことから、薬学生の実務実習も積極的に行う。「これから今以上に、女性に特化した薬局として展開していきたいと考えている。食生活や栄養、健康について気軽に相談できる場所として、漢の気巡水茶と『和漢の贈り物』です(鹿又氏)。



試飲で使用する紙コップには商品の特徴を記載したシールを貼付し、試飲コーナーには実際の茶葉をディスプレイ。「製品の中身が見えることで、より一層の安心感に繋がると思います」(青山氏)



和漢の贈り物

これまでにない身体の変化を感じやすくなる30代をターゲットに展開するサプリメント。漢方煎薬のリーディングカンパニーとしてトップレベルの漢方煎薬承認取得数を誇る同社が培った豊富な知識と製造経験を活かして開発された同シリーズは、一般的なサプリメントに配合される成分に、自然に存在する植物や動物、鉱物などが由来の和漢成分をプラス。防御力が欲しい人には「守るチカラサポート」、美しいハリや透明感を求める人へおすすめの「つやつやクリア」、イライラすることに悩む人は「ゆったりリラックス」、女性へおすすめの「おめでたサポート」の計5種類をラインアップ。価格は1500円と



オリーブ薬局

(東京都墨田区)

平成18年に営業を開始したオリーブ薬局は、女性専門のクリニックや地下鉄が通じる同薬局として開局された同薬局は、OTC医薬品の販売を始めることに管理薬剤師4名(うち1名は薬剤師2名)による栄養相談(月2回)や週1回「オリーブカフェ」を開催。「オリーブカフェ」では散歩や折り返し、ミニ講話など、

取材日には、調剤薬局ト薬局を取得したオリーブ薬局は地域の生活者の健康をより幅広く積極的にサポートすることを旨とし、試行錯誤を重ねるなかで、調剤における待ち時間を短縮するきっかけ作りを意欲的に進めている。

漢の気巡水茶

漢方の考え方を基に、巡・水のバランスを補う「漢の気巡水茶」シリーズは、漢方視点で厳選した機能性素材の原料を使用。そこへ大麦やハトムギ、イチョウ葉、オオバコ実、ほうじ茶、甘草、ドクダミなど、漢方の生薬においても使用される野草原料を使用しているため、「これ以上、薬品は摂りたくない」「漢方由来の健康茶を飲んでみたい」「健康・美容・季節の変わり目による体調不良が気になる」といった幅広いニーズに対応する商品といえる。

リリースした専用WEBサイトは、設問へ回答することで自身のからだのタイプや気になる悩みに合わせて、専門知識に不安のあるスタッフでも活用しやすいと評判を集める。

「おめでたサポート」の計5種類をラインアップ。価格は1500円と



「『宜しければ〇〇茶をお試しになりますか』とお声掛けするときもあれば、セルフで試飲してもらったこともあります。試飲した方が『美味しい』と感じたとき、飲んでみる紙コップを見て今何を飲んでいるのかなど効果があるのか、分かりやすくてほしい」との思いから、タキザワ漢方廠が展開するツールを活用し、商品

今年2月に健康サポートが販促手段の一つとして

青山氏は豊富な専門知識を持つ管理栄養士の目線から、商品への期待の高さをコミュニケーションの中で伝える

